

# 平成14年度工学部・工学研究科技術部第1回技術講習会

## 1. 第1回技術講習会について

学外専門技術研修は、平成13年度より工学部・工学研究科技術部において学外の諸機関などに技術職員を派遣し、技術・技能・知識やノウハウなどを獲得し、これを当技術部の技術職員に伝搬・増幅・保持させ、技術部全体の能力向上と育成を図るものとして設けた。これを受けて当該年度に技術職員を選考し6名の技術職員が学外の機関に派遣された。

そこで、これらの技術職員によって獲得してきた技術・知識・ノウハウを当技術部の技術職員に広め、伝授することを目的として平成14年度の第1回技術講習会を開催した。

## 2. 実施時期と会場

実施時期：平成14年7月23日(火) 10:00～17:00

会場：名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー セミナー室(4F)

## 3. 受講対象者

講習会の前半は装置開発関係の技術職員を主たる対象にし、後半は情報処理や情報通信システム運用・管理、電気・電子技術関連の技術職員に重きを置いた。ただし、これに関心を示す技術職員も対象者とした。

## 4. 受講者数

受講者総数(のべ数)：62名

内 訳：	技術系	午前の部	午後の部	小計
	電子情報技術系	4名	16名	20名
	装置開発技術系	20名	3名	23名
	環境・安全技術系	5名	4名	7名
	物質・分析技術系	4名	5名	9名

## 5. 講習会のプログラム

10:00～10:20	受け付け		
10:20～10:30	開催の挨拶	研修・講習担当技術長(技術専門官)	長岡敏彦
10:30～12:00	CNC三次元測定技術	技術班長	涌井義一
		技術主任	福森 勉
		技術官	白木尚康
12:00～13:00	休憩/昼食		
13:00～14:20	スタイルシートとスクリプトによるホームページの作成	技術官	青木延幸
14:20～15:40	Perl & CGIによるインタラクティブ・ホームページの作成	技術官	玉置一雄
15:40～17:00	FreeBSDネットワーク構築「ファイアウォール編」	技術官	早川正人

## 6. 工学部・工学研究科技術部研修・講習WG

長岡敏彦、清水利文、櫻井幸夫  
藤谷善照、大久保興平、稲石守男、川出義之

# 平成14年度工学部・工学研究科技術部第2回技術講習会

## 1. 第2回技術講習会について

学外専門技術研修は、平成13年度に学外の諸機関に技術職員を派遣し、そこに於ける技術・技能・知識やノウハウなどを獲得して、これを当技術部の技術職員に伝搬・増幅・保持させ、技術部全体の能力向上と育成を図るとして設けられた。

そこで本年は、放射線源の取り扱いに関する最新の法知識を得るために、放射線障害防止中央協議会と財団法人原子力安全技術センターが主催する研修会（平成14年6月）に技術職員を派遣した。ここで獲得してきた知識を当技術部の放射線関連業務に従事する技術職員に広め、放射線源の安全な管理を遂行せしめるために第2回目の技術講習会を開催した。

## 2. 実施時期と会場

実施時期：平成14年10月1日（火）13：00～14：20

会場：名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー セミナー室(4F)

## 3. 受講対象者

放射線取り扱いや環境・安全業務あるいはガスクロマトグラフの取り扱いに従事する技術職員を主たる受講対象者とする（これに関心を示す技術職員も含める）。

## 4. 受講者数

受講者総数：16名

内 訳：	電子情報技術系	3名
	装置開発技術系	0名
	環境・安全技術系	10名
	物質・分析技術系	3名

## 5. 講習会のプログラム

13:00～13:20 受け付け

13:20～13:30 開催の挨拶 研修・講習担当講習係 大久保興平

13:30～14:20 密封放射線源の取扱について

技術官 今井重文

内 容：放射線審議会は、平成10年6月にとりまとめた「ICRP1990年勧告の国内制度等への取り入れについて(意見具申)」において、「除外と免除」を中心にした基本的な考え方を整理、検討してきた。・・・たとえば密封線源についてとBSSにおいて核種毎に設定された免除レベルとの比較・・・このような、放射性物質の免除レベルに関する国内外の検討について幾つかを説明する。

(1)放射線の単位について

(2)我国に於ける規制免除レベルの検討状況と国際動向について

(3)密封線源の取扱について

## 6. 工学部・工学研究科技術部研修・講習WG

長岡敏彦、清水利文、櫻井幸夫

藤谷善照、大久保興平、稲石守男、川出義之

# 平成14年度工学部・工学研究科技術部第3回技術講習会

## 1. 第3回技術講習会について

労働安全衛生法の運用については、既に、本学が当番校となった平成14年度東海・北陸地区国立学校等教室系技術職員合同研修（情報処理コース）において「安全：労働安全衛生法と人事院規則との対比」の講義（愛知労働局安全課に依頼）として実施した。しかし、工学部においては未だ技術職員の多くが「労働安全衛生」について周知されていないので、この機会に技術部として必要な「労働安全衛生」の講習を企画した。

また、中央労働災害防止協会の調査員によって12月26日に「労働安全衛生診断」調査が実施された。工学部新1号館に労働安全衛生法を適用した場合の問題点を明らかにするために現場の職員からの聞き取り調査と問題点の指摘をしながら職員に周知して巡回した。職場立入り実態調査の様子から職場の労働安全衛生整備について学習する講習を企画した。

## 2. 実施時期と会場

実施時期：平成15年1月28日（火）13：00～15：00

会場：名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー ホール(3F)

## 3. 受講対象者

労働安全衛生、職場環境改善に興味のある技術職員

## 4. 受講者数

受講者総数：40名

内 訳：	電子情報技術系	8名
	装置開発技術系	9名
	環境・安全技術系	11名
	物質・分析技術系	8名
	技術部本部	1名
	名古屋工業大学	1名

## 5. 講習会のプログラム

13:00～13:20 受付

13:20～13:30 挨拶

13:30～14:00 「健康安全管理基準」

独立法人化にともなう健康安全管理基準に関する調査

大久保 興平

14:00～14:30 「労働安全衛生診断実態調査に同行して」

藤谷 善照

14:30～15:00 質疑応答

内 容：「労働安全衛生法」に適合した職場環境の整備

## 6. 工学部・工学研究科技術研修・講習WG

長岡敏彦、清水利文、櫻井幸夫

藤谷善照、大久保興平、稲石守男、川出義之